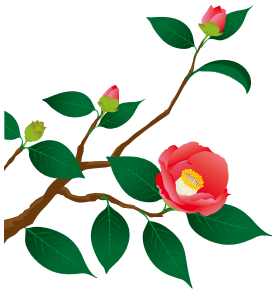


・投票立会人の確保に苦慮している状況が見受けられることから、その要因の一つである長時間にわたる投票時間の短縮等、他市町村の状況も勘案しながら様々な方策を検討し、投票事務に支障のないよう対応されたい。

※1 特急発行申請：令和6年12月2日から、速やかにマイナンバーカードの交付を受ける必要がある方へ1歳未満の乳児、カード紛失時、国外からの転入者等、特定の要件を満たした方を対象に、原則1週間以内でマイナンバーカードを受け取ることができ

るもの。
※2 乾田直播栽培：畑状態の田んぼに種子を播き、出芽が揃った後に入水する栽培方法。春作業において労力のネックとなる代かきや苗運びが不要となり、省力化が可能。



監査の結果に 対する措置

令和5年度に実施した監査結果に基づき講じた措置について、茂原市長から通知がありました。内容は、次のとおりです。

◆監査の種類 定期監査

◆措置年度 令和6年度

〈市民部 生活課〉

【監査結果】

・協働のまちづくりについては、茂原市協働のまちづくり推進懇話会や茂原市協働のまちづくり推進庁内委員会の様々な意見を踏まえ、優先課題を決めながら実施可能な取組を具体的に検討し、事業の推進に努められたい。

・長生郡市連合自治会連絡会は、長生郡市の合併を見据えて設立されたが設立から30年以上経過していることから、改めてその存在意義と必要性について検証するとともに、郡内町村と活動内容等を精査しながら今後の在り方について検討されたい。

【措置内容】

・市民活動団体は増えてきているが、それぞれ単独での活動では活性化や持続性に限界があるので、異種・異世代の団体同士が結び付き人材やノウハウ等の共有が図られるよう支援していく必要があるとの意見を受け、各団体の認知度向上を図るための紹介紙面の作成・公共施設等への配架や団体交流会の開催のほか、参加希望団体が連携協力し、それぞれのPR・成果発表の機会となるよう市民活動フェスタを実施した。

また、団体交流会の中で活動状況等を聞き取り、各団体が抱える課題の把握に努めたところ、参加者や会員の確保に苦慮している団体が多いことから、今後も引き続き、団体の認知度向上を図る場や機会の確保に努めるとともに、各団体がそれぞれ保有する人材やノウハウ等の共有が図られるよう団体同士のつながり構築に向けた支援に取り組んでいく。

・長生郡市連合自治会連絡会の令和6年度定期総会の中で、今後の運営について協議

したところ、「現状、長生郡市内の自治会長連合会や区長連合会が連合体を組織して取り組むべき課題はない。今後また必要性が生じたら改めて設立すればよいのではない

か」、「各市町村の組織でもこの連絡会と同様の事業にそれぞれ取り組んでいることと思う。各市町村単独では実施等が難しいこともあるため、今後

も連携は非常に大事であり、事務担当者間での連携は継続するべき。今後、長生郡市が一体となつて進めていくべき事項が生じた際は、必要に応じて、各市町村連合会が集まる形式で進めてほしい」等の意見があり、採決の結果、長生郡市連合自治会連絡会は令和6年度末で解散、情報共有等の連携は事務担当者間で継続することに決定した。これを

受け、今後については、令和6年度事業を完了後、年度末までに臨時総会を開催し、決算や規約等について解散処理を行う予定である。

〈福祉部 高齢者支援課〉

【監査結果】

・介護給付費準備基金の管理

運用にあたっては、既成概念にとらわれることなく、確実かつ有利な方法を積極的に検討されたい。

【措置内容】

・介護給付費準備基金は、これまで定期預金でのみ運用してきたが、監査の指摘を受け検討した結果、第9期計画の3年間で取崩しを予定しない2億円について、償還期間が2年間の東日本高速道路株式会社

の社債を購入し、運用することとした。
当該社債は、信用格付会社による格付が日本国債と同等で安全性が高く、利率が年0.439%と、定期預金の利率年0.025%に比べて有利であることから選定した。
今後基金の運用にあたっては、確実かつ有利な方法の調査・研究に努力していく。

問合せ

監査委員事務局（9階）

☎(20)1560 FAX(20)1607